

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Jul.2023



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

香港では、ス■ローが進出し、毎日長蛇の列で2時間待ちも当たり前の世界。香港人はそれだけ並んででも新鮮でバラエティに富んだ寿司を楽しんでいる。

しかし、先日、中国税関当局が日本からの輸入水産物に対する全面的な放射線検査を初めた問題で香港日系会社が輸入した大量の鮮魚等の水産物が中国南部の税関で留め置かれた事が判明した。

結局、検査に時間がかかってしまい鮮度が保てず合計1億円近い被害がでたとの事。

中国外務省は記者会見で「これらの処置について国民の健康に責任がある！」と正当化し、東京電力福島第一原発処理水を巡り日本への圧力を加える為の検査を継続する構えである。

海外に住む者にとってこれらの処置により本物の寿司が日式に変わる事、また価格が上がる事を一番懸念している。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

7/22関東甲信越の梅雨明けが発表されました。今年は梅雨の間の関東地方の雨量は例年の4割だったそうです。しかしながら主要のダム貯水率は90%との事。今年は春先に雨が多かったため貯水率が高くなっており、今のところ水がめの心配はなさそうです。...が、今年の夏もとにかく暑い！ということで猛暑が続き、雨が降らないと1ヵ月程度で無くなるそうです。水は大切に。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Saving water around the home is another way to reduce the environmental impact of your lifestyle and, as with reducing energy usage, can save you plenty of money.-Use short cycles for washing clothes: Modern washing machines have an "Eco Wash" option you should take full advantage of.-Fix leaks: Ensuring there are no leaks in your plumbing system – including pipes, taps, toilet cisterns – helps prevent unnecessary water wastage.-Take short showers: Hot showers are an incredible luxury, so don't waste this by spending far too long in the shower.-Turn off the tap when brushing your teeth: An often-forgotten habit that wastes litres of water. Turn off the tap.-Install tap aerators on all your taps: Aerators are cheap additions to the end of taps that reduce the flow of water while improving the pressure of a tap's stream.-Install a low-flow shower head: Low-flow shower heads work in a similar way to tap aerators – aerating the stream of water, improving pressure and saving plenty of water and energy. (V.K.)

CSI

ミニストップのハロハロ。元はフィリピンの一般的なスイーツです。ハロはタガログ語で混ぜる。ハロハロと続けると混ぜこぜという意味との事。元々は明治末期に日本から甘味屋の商売を始めた際の蜜豆やかき氷が起源。でした。(K.S.)

SANSHINWest

年々、熱中症で病院に運ばれるニュースが増えてきたように感じます。そもそも熱中症とは、汗が蒸発しないほど高温多湿環境で長時間居たり、体内の水分不足で十分な汗をかけなかったりしたときに、体温を下げられず発症します。口や喉の渇きを感じた時には既に脱水が始まっているともいわれているため、身体からのサインを見逃さず、健康第一で夏を乗り切りましょう。(Y.S.)

SHINKOWA

毎日暑い日が続いておりますが、体調管理と熱中症に注意ですね。工場がある千葉県八街も日中はとても暑くなります、工場内に熱中症注意「水分補給を忘れないように」と張り紙をして注意喚起しております。また、工場での作業時は、冷凍庫に保冷剤を使ったタオル状のものがありますので、それを首に巻いて作業するようにして対策しております。(M.N.)

SC2

【香害は公害】深刻さを増す香害ですが、最近風向きが変わりつつあります。NHKで香害が取り上げられたり、複数の自治体で洗剤の香りを理由に給食着の共用が廃止されたり。まだ小さな変化ですが、やがて社会の歪みをひっくり返す契機になってほしいと願います。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

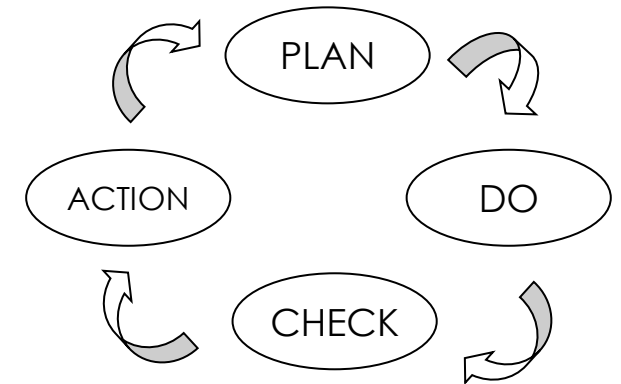
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



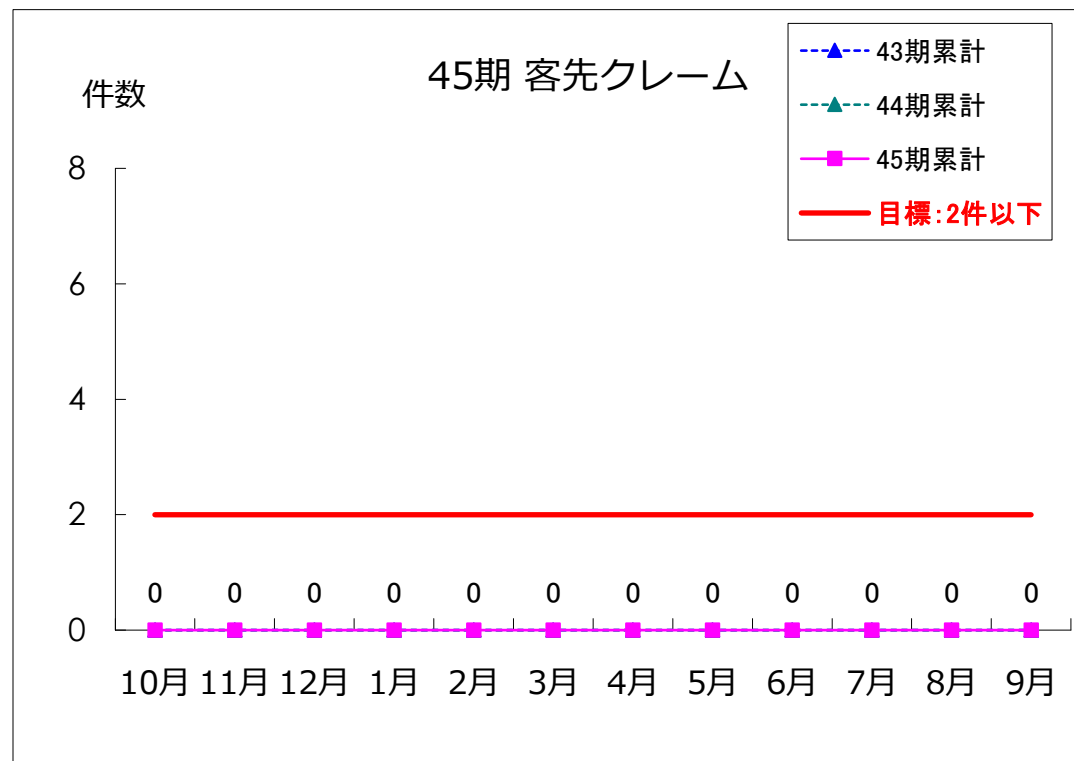
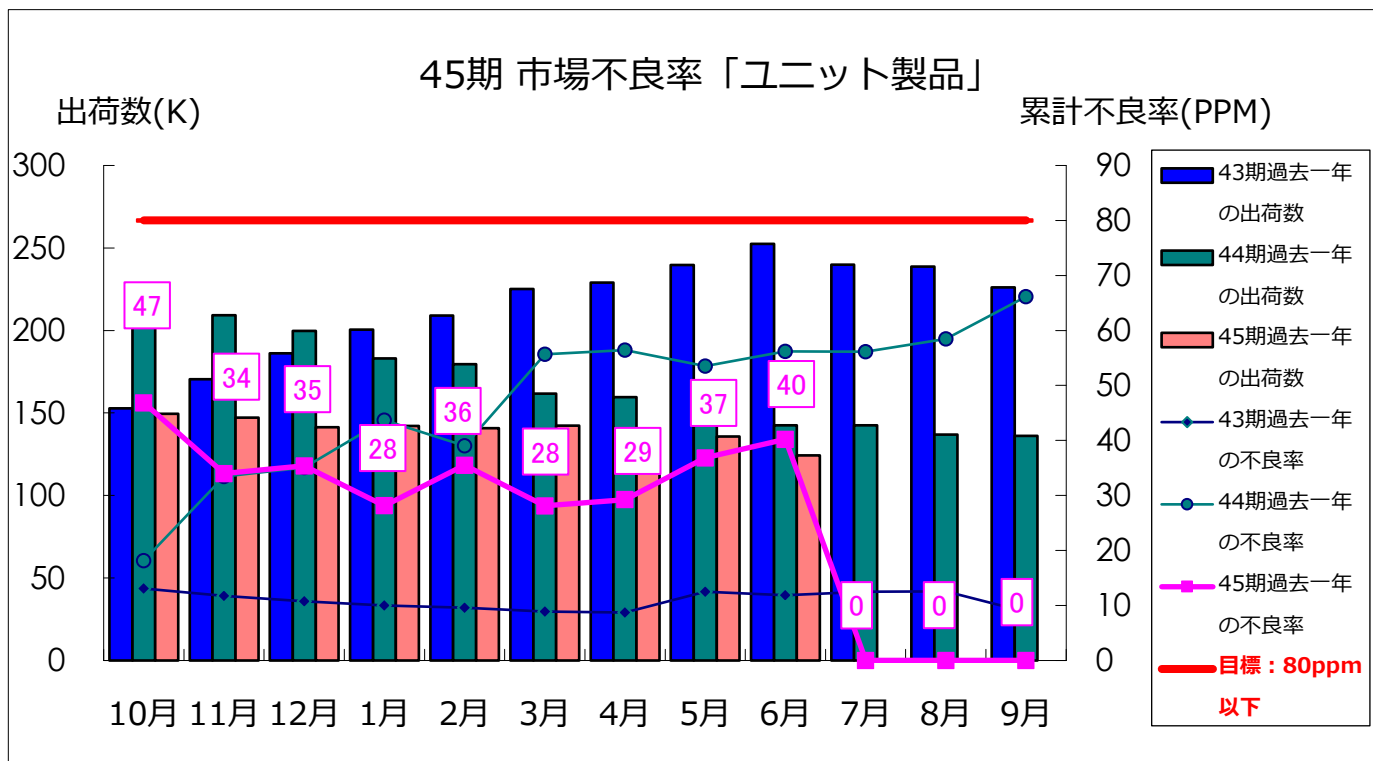
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 45期の累計不良率(解析依頼含む) : 40ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ エコツーリズムの課題と事例－自然環境保全と観光の関係・両立させるための取り組み

近年、自然環境の悪化から世界中で注目されているのが「エコツーリズム」です。環境保全の観点から、自然に優しく、その土地の文化や歴史を学ぶ新しいスタイルの観光形態を取り入れる国や自治体も多くなっています。しかし、環境保全と観光を両立させるには難しい部分もあり、エコツーリズムには課題が多く残ります。エコツーリズムの抱える課題と、解決に向けた取り組み例をご紹介します。

☑ エコツーリズムとは

エコツーリズムは、その地域ならではの自然や資源を保護しながら、それを利用して行う観光のことを指します。

環境保全と観光の振興を両立させ、持続可能な観光産業と地域の発展を目指します。

近年よく耳にするようになったエコツーリズムですが、国際的に統一された定義はありません。一般的には自然環境や歴史文化など、その地域ならではの魅力を観光客に伝えることによって価値を見出し、保全につながることを目的とした観光の考え方をエコツーリズムと呼びます。

観光によって自然環境や資源が損なわれることのないよう適切な管理の元で保護・保全するとともに、地域住民も自分たちの資源の価値を再認識し、観光のオリジナリティを高め、地域の暮らしの安定や活性化を目指します。

日本では、日本エコツーリズム協会がエコツーリズムの健全な普及と推進を図っています。

今月のTOPICS

☑ エコツーリズムの歴史

エコツーリズムは、当初途上国において、森林などの自然を観光客に見せることによって観光資源とし、森林伐採などの開発から自然を守りながら経済発展する考え方として注目されました。先進国では、持続的な観光振興を目指す概念として論じられています。

日本では、1990年頃から民間事業者が屋久島などの自然豊かな観光地でエコツアーを始め、1991年には環境庁（当時）がエコツーリズムに関する調査を開始しました。2003～2004年にかけては環境大臣を議長とした「エコツーリズム推進会議」が開催され、2007年には地域で取り組むエコツーリズムに関する総合的な枠組みを定めた「エコツーリズム推進法」が成立しました。

☑ エコツーリズムに取り組むには

エコツーリズムに取り組むには、その土地固有の文化や自然を守りながら、それを使用して持続可能な観光振興を目指すというエコツーリズムの考え方に基づいたエコツアーを行うことが重要です。

エコツアーを行うにあたっては、環境保全を図りながらその観光資源の魅力を観光客に的確に伝えられるガイドの存在も必要になります。そして観光客側にも、自然を大切に土地の文化を理解する姿勢が求められます。

エコツーリズムを健全に推進するためには、観光客、地域住民、観光業者、研究者、行政の5つの立場の人々がバランス良く協力し合うことが不可欠です。

今月のTOPICS

■ エコツーリズムが抱える課題

自然を保護しながら経済活動を活性化させることが目的のエコツーリズムですが、良いことだけではなくさまざまな課題も抱えています。その中でも大きなものは、環境保全と観光振興を両立させることと、エコツアーを行うガイドの確保です。

☑ 自然環境保全と観光振興のバランスをとるのが難しい

エコツーリズムの目的は、地域の環境を保護しながら観光業として成立させることです。しかし、観光客が増加すればゴミが増えたり外来の植物が持ち込まれたりなど、地域の生態系が壊される可能性があります。また、観光客が安全に見学できるように森林が伐採されて車道や歩道が作られたり、階段や手すりが作られたりもします。その過程で多少なりとも植物や昆虫が犠牲になり、野生動物が人間に慣れ、警戒心が無くなることでさまざまな問題も発生します。その一方で、環境保全に力を入れ過ぎて観光時のルールを厳しくしすぎたり、人数の制限などをしたりすると観光客の数が減ることにつながります。それでは観光業として成立しなくなる可能性があり、環境保全を優先するのか観光振興を優先するのか、この二つのバランスをとるのが難しい現状があります。

☑ エコツアーを行うガイドの確保が難しい

エコツアーでは、地域ならではの自然の魅力や特徴、文化や伝統を観光客に紹介することが目的です。そのためには、それを観光客に分かりやすく説明し、環境に負荷を与えずに案内できるガイドの存在が非常に重要であるといえます。エコツアーは自然への負荷が無いツアーではなく、ガイドが自然環境への影響を常に考えながら行動しなくてはならないツアーです。しかし、国や専門機関によるエコツーリズムに関するガイドの資格認定制度はありません。一時的なアルバイトや無償のボランティアがガイドを行っている場合があり、ガイドの質にばらつきがあることが問題となっています。また、ガイドの高齢化や後継者不足も問題視されています。

今月のTOPICS

■ エコツーリズムの課題解決に向けた取り組み例

環境保全と観光振興のバランスをどのように取ればよいのかはエコツーリズムにおける大きな課題ですが、その課題の解決に向けて取り組んでいる地域もあります。タイ、エクアドル、そして日本の小笠原諸島の例をご紹介します。

・タイ：ピピ・レイ島

タイのピピ諸島では、観光客の増加によりサンゴの破壊、ごみ問題、砂の減少による砂浜の傷みなどが大きな問題となっています。人気No.1の観光スポットであるピピ・レイ島のマヤ湾は、海洋生態系回復のために2018年から現在に至るまで閉鎖され、観光客は立ち入ることができません。閉鎖により多額の経済的損失が発生しましたが、最も大切なのは自然を回復することであり、長期的に見れば自然回復を促す方が観光客の満足度が高まるとの考えから、閉鎖という決断がされました。入島再開後は、入島時間・人数の制限、ガイドによる環境教育の実施、観光客が参加できる環境配慮プロジェクトの実施などを取り入れる予定です。また、観光業としては、観光客数の増加ではなく一人当たりの観光消費額の向上を目標にします。

・エクアドル：ガラパゴス諸島

ダーウィンが訪れ進化論の着想を得たことで有名なガラパゴス諸島は、1978年に世界自然遺産の第1号の一つとして登録されました。しかし、90年代以降の急激な観光地化と人口増加から、環境汚染や外来種の侵入などで2007年には危機遺産リストに登録されました。危機遺産とは、世界遺産のうち、価値を失うような重大な危機にさらされている遺産のことです。その後、観光客の入島数や滞在期間の制限、外来種の持ち込みを防ぐために探知犬を導入するなど取り締まりを強化した結果、エクアドル政府による環境保全措置の努力が実を結び、2010年には危機遺産リストから脱却しました。また、ガラパゴス諸島ではナチュラリスト・ガイド制度が取り入れられており、観光客はナチュラリスト・ガイドと共に観光やマリンアクティビティをしなければいけません。ガイドは観光客に生態系や歴史などの紹介をするほか、公園内のルールを遵守するように指導もしています。

今月のTOPICS

- ・ 日本：小笠原諸島

小笠原諸島は、島の誕生以来、他の陸地と地続きにならなかったことのない海洋島です。そのため、2011年には生態系の独自性が評価され、国内4番目の世界自然遺産に登録されました。山域のガイドツアー、ナイトツアー、スターウォッチング、スキューバダイビングなど様々なエコツアーが行われています。

東京都は、小笠原諸島の南島と母島石門一帯を自然環境保全促進地域として指定しており、利用区域や経路、時期や時間、一日当たりの利用者数などを定めたルールに基づいてエコツーリズムを実施しています。

自然環境保全促進地域を利用する際には、都認定の「東京都自然ガイド」の同行が必須となり、一人のガイドが担当する利用者数も決められています。

- エコツーリズムの課題を乗り越え、環境保全と観光振興の両立へ

元々は途上国の自然環境を保全しながら観光産業を発展させるという考えから始まったエコツーリズムですが、環境保全と観光振興の両立には課題もあります。環境保全に偏り過ぎては経済的効果が見込めず、観光振興に重きを置けば自然破壊が進んでしまうというジレンマがあり、そのバランスをうまく取る必要があります。課題解決のためには、エコツーリズムの考え方を多くの人に広めることと、ガイドの質を高めてより自然環境に配慮したツアーができるように努力することが重要です。

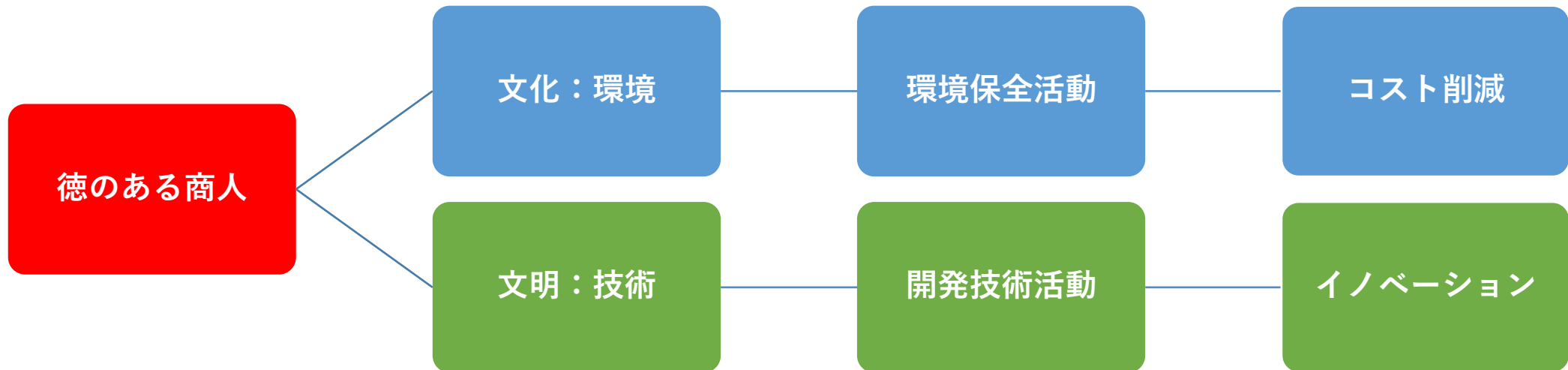
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

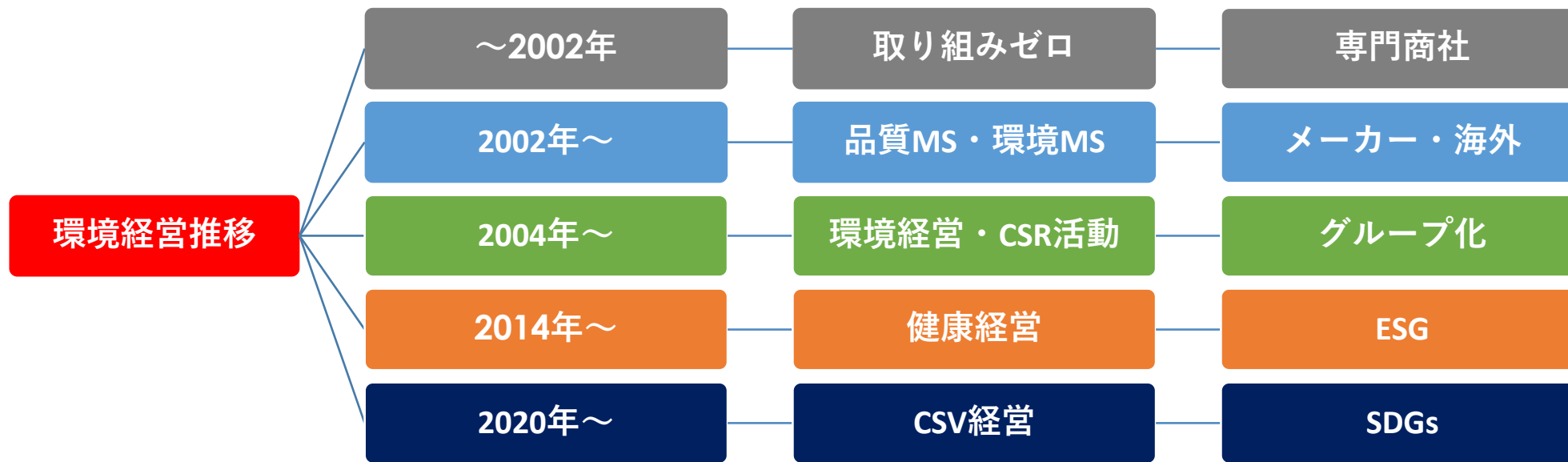
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

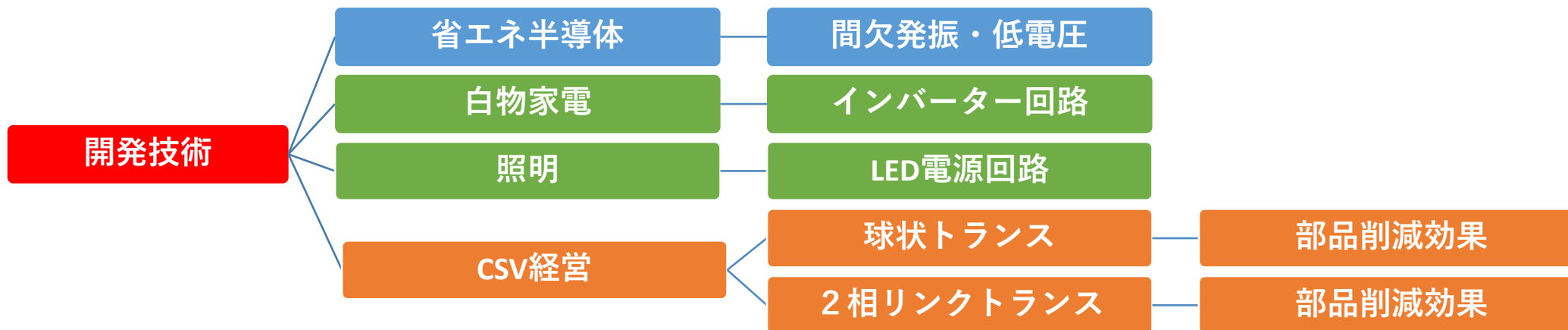
3. コスト削減実績

- 紙/ゴミ/電気，三種の神器，徹底削減の継続
 - テレワークによる電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



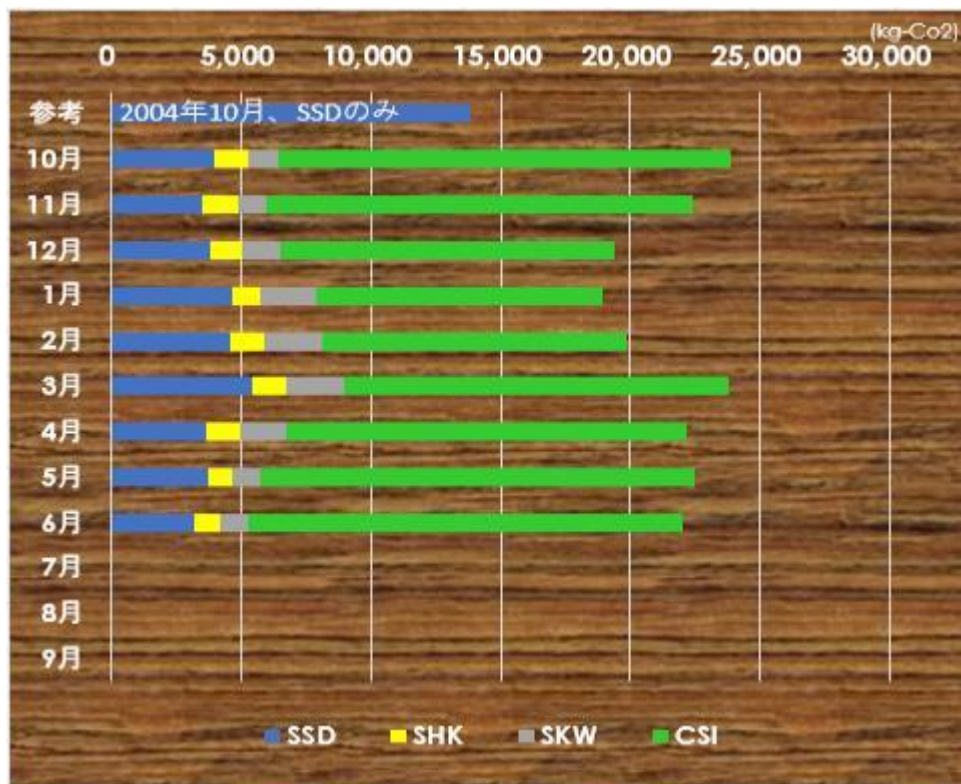
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

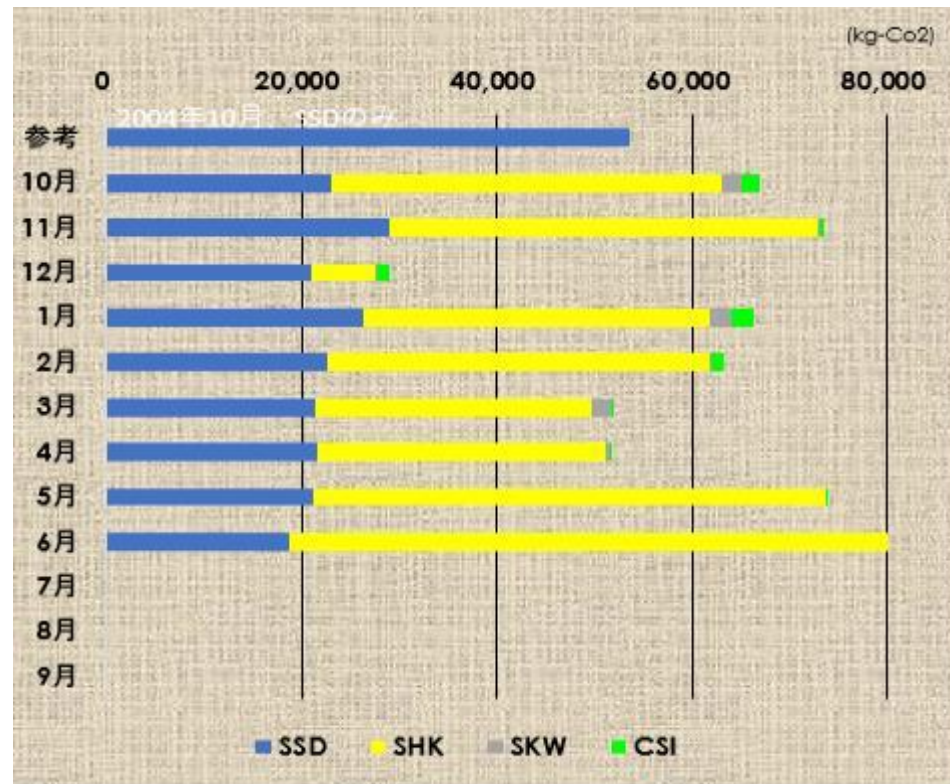
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

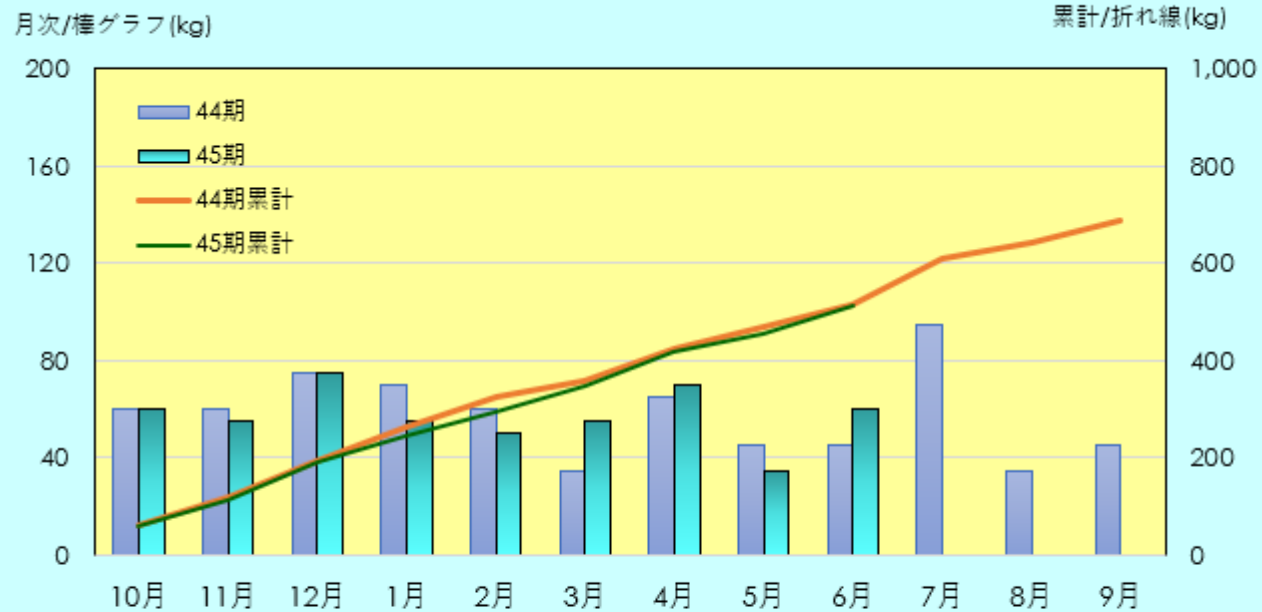
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



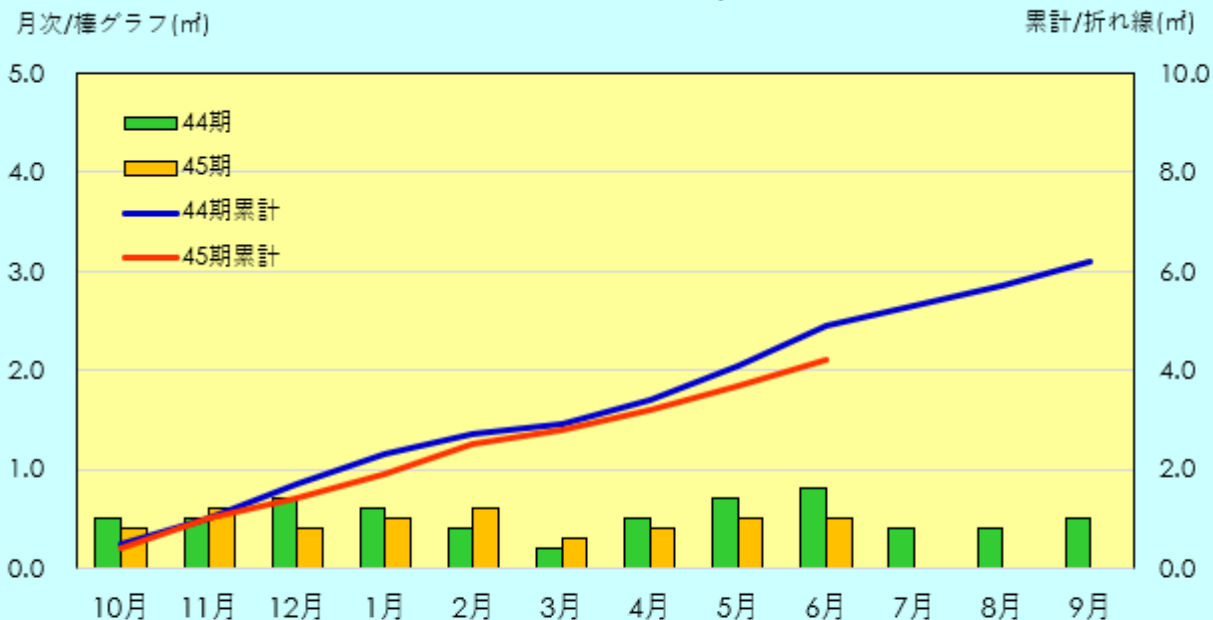
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



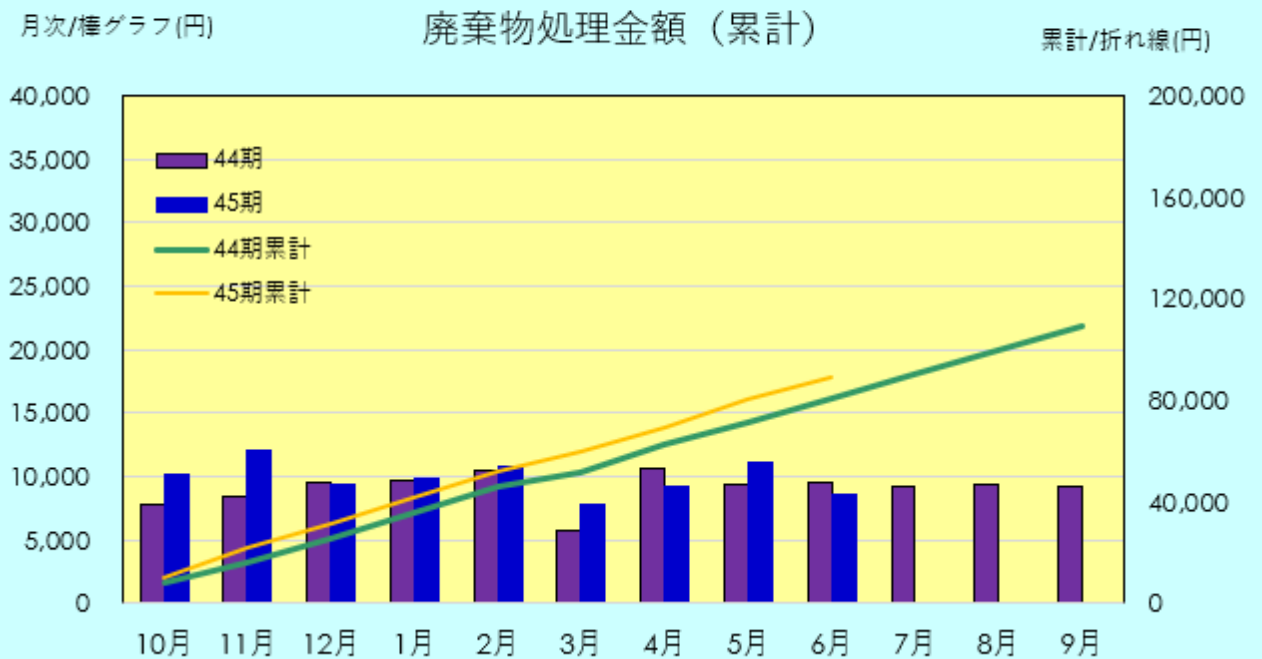
一般廃棄物 (SSD/本社)



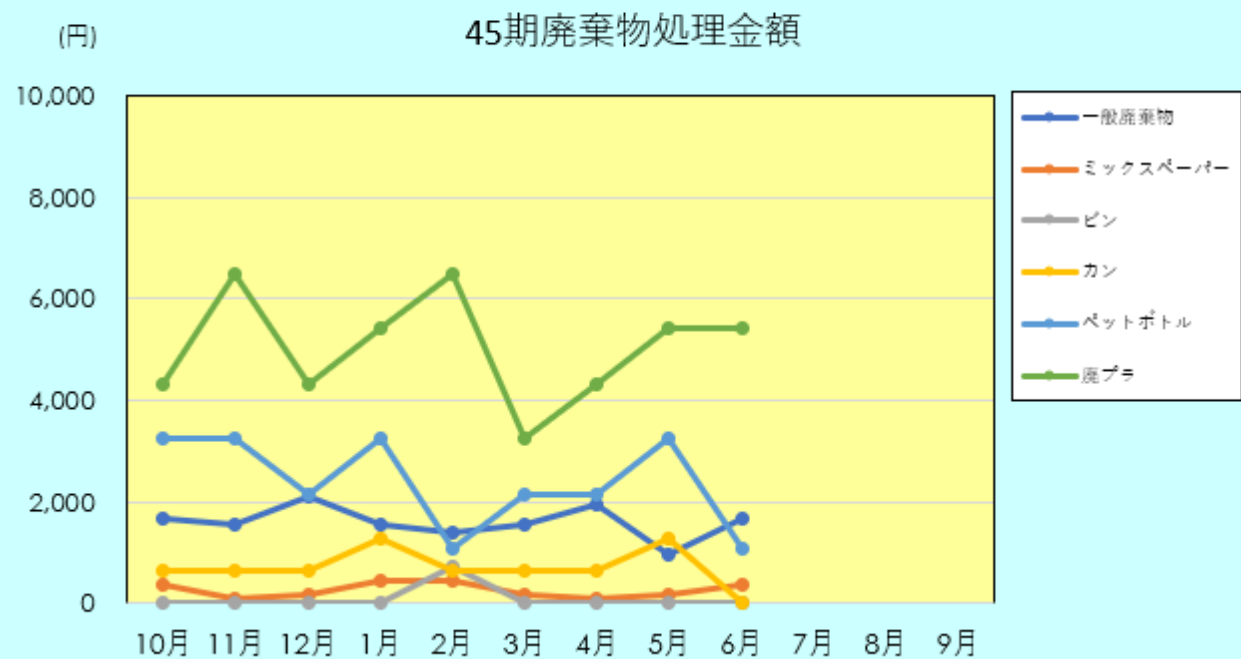
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



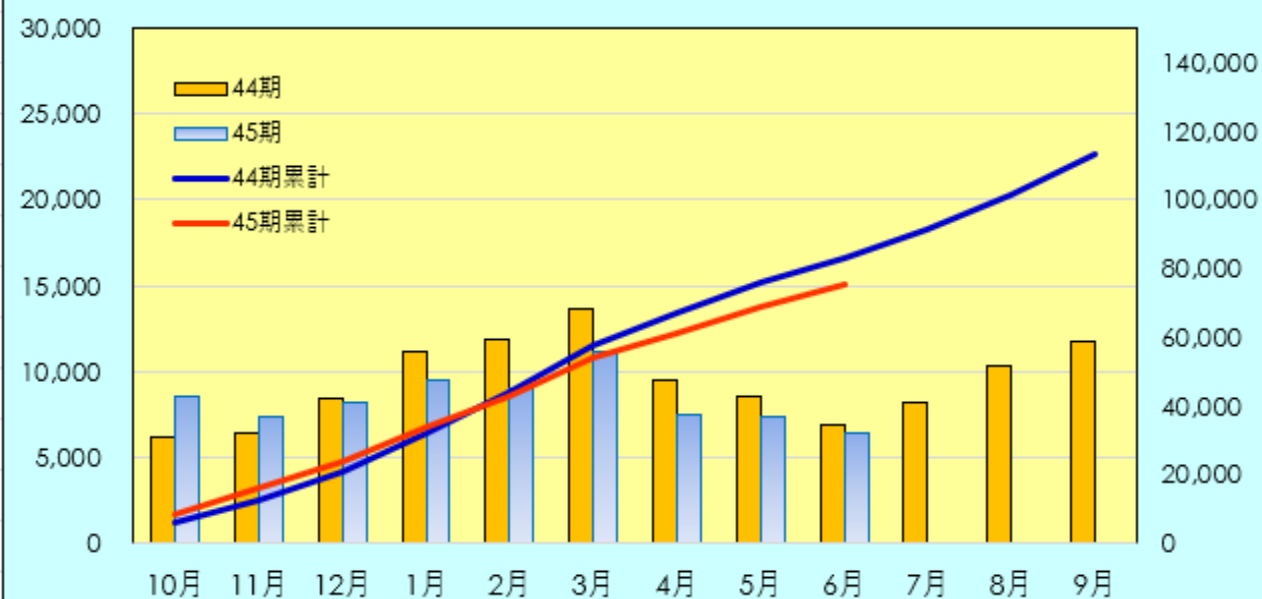
45期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

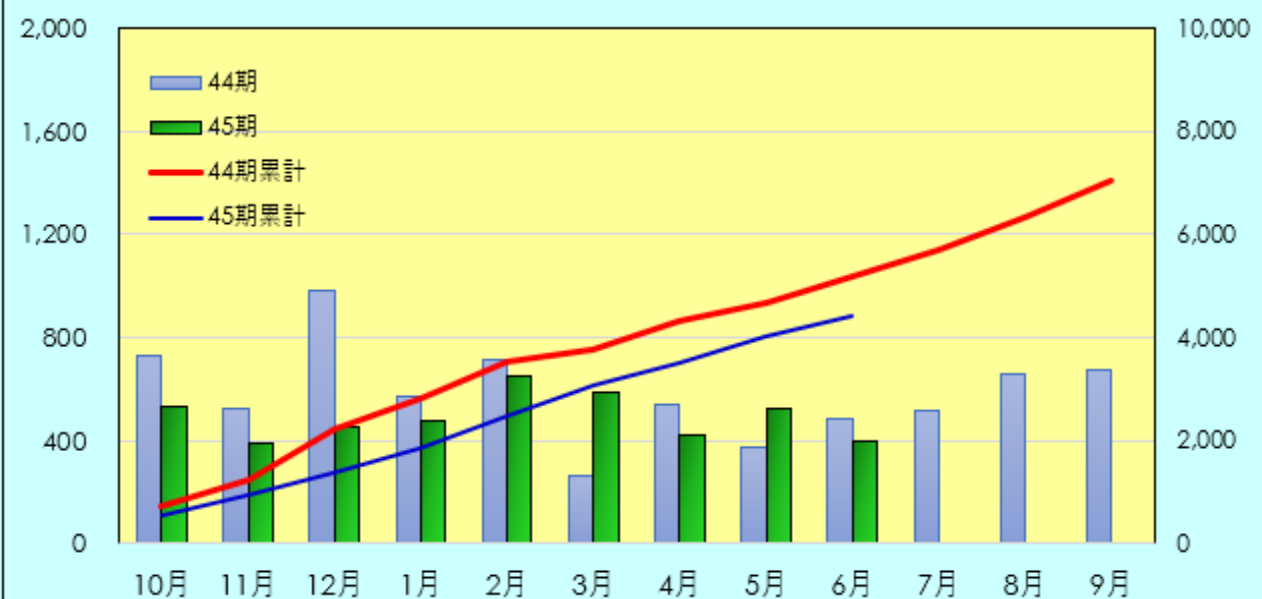
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

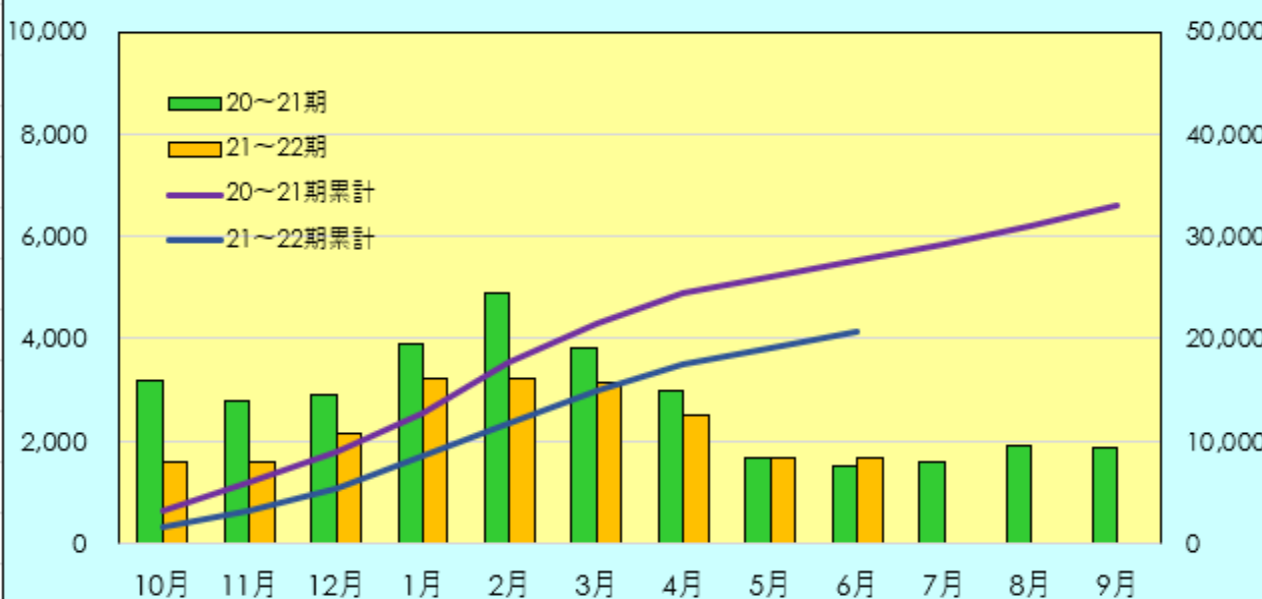
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

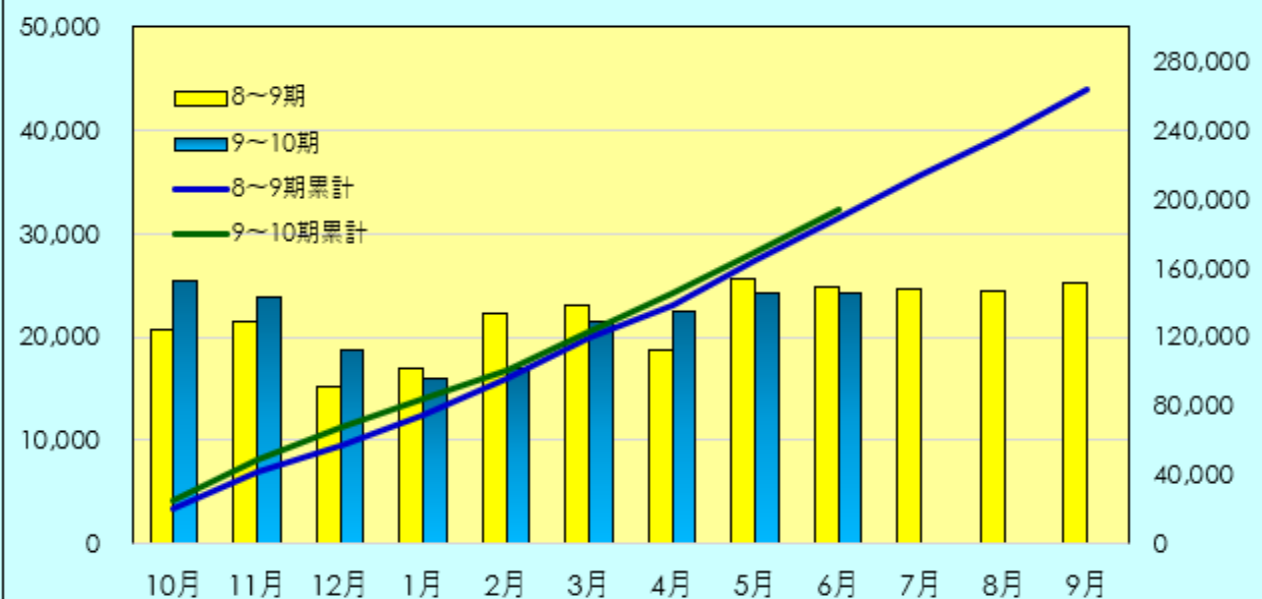
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●SANSHIN大学ビジネス実務講座「EIGYO研修」開講

7月7日に、サンシングループ各社の営業担当者を対象に、EIGYO研修を実施しました。

研修は、サンシングループオリジナルのEIGYO管理シートを使って実践形式で実施しました。若手からベテランまで参加し、質疑応答や意見交換も活発に行われ、大変活気溢れる講座となりました。

今後も全社員の継続的なレベルアップと人財育成を図るべく
SANSHIN大学では多種多様な講座を開講予定です。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（6月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

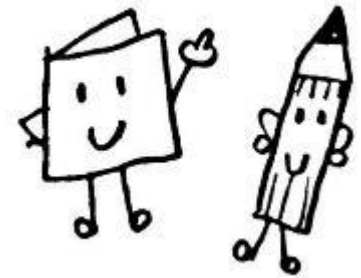


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



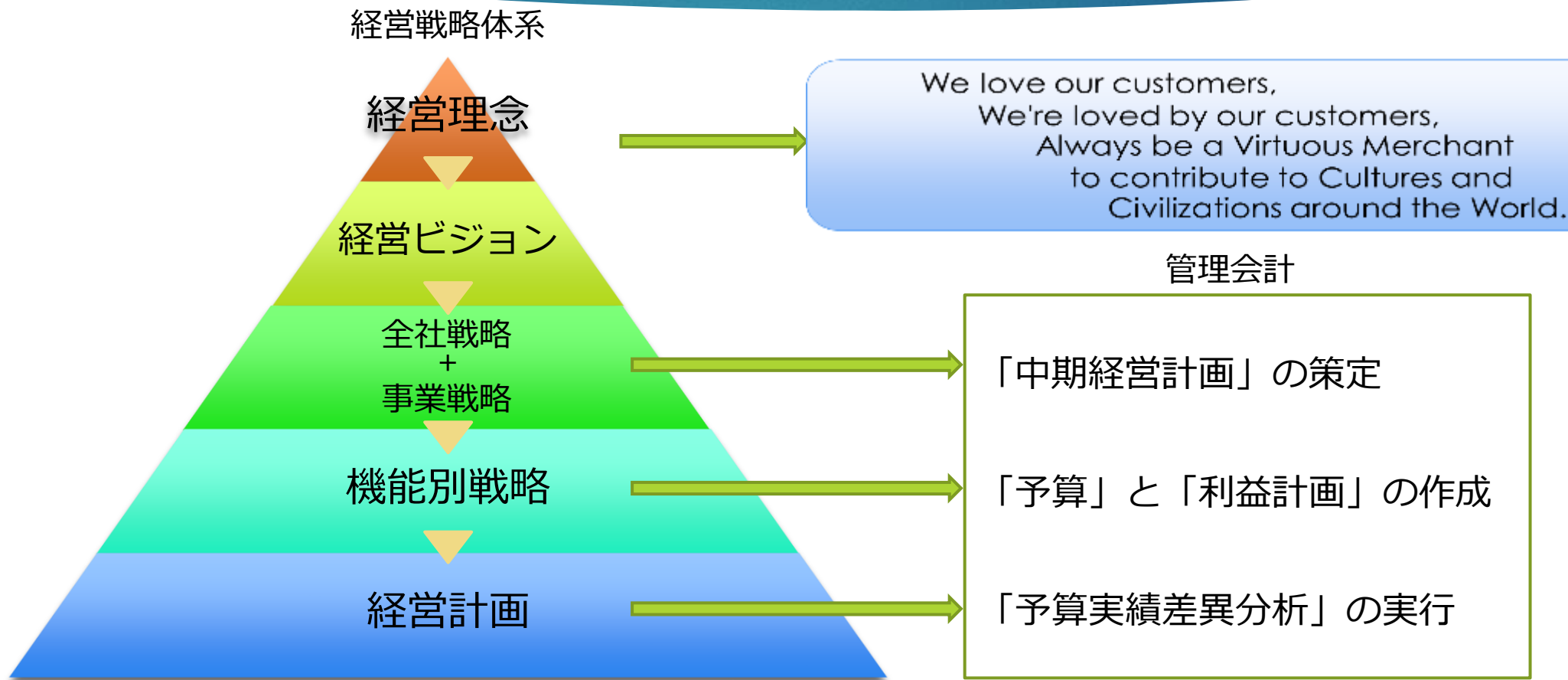
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

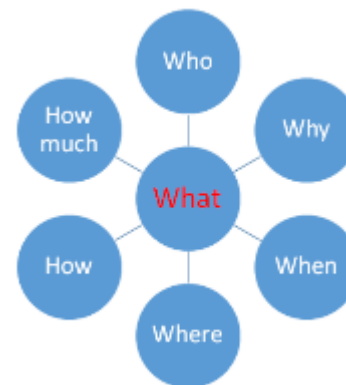


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



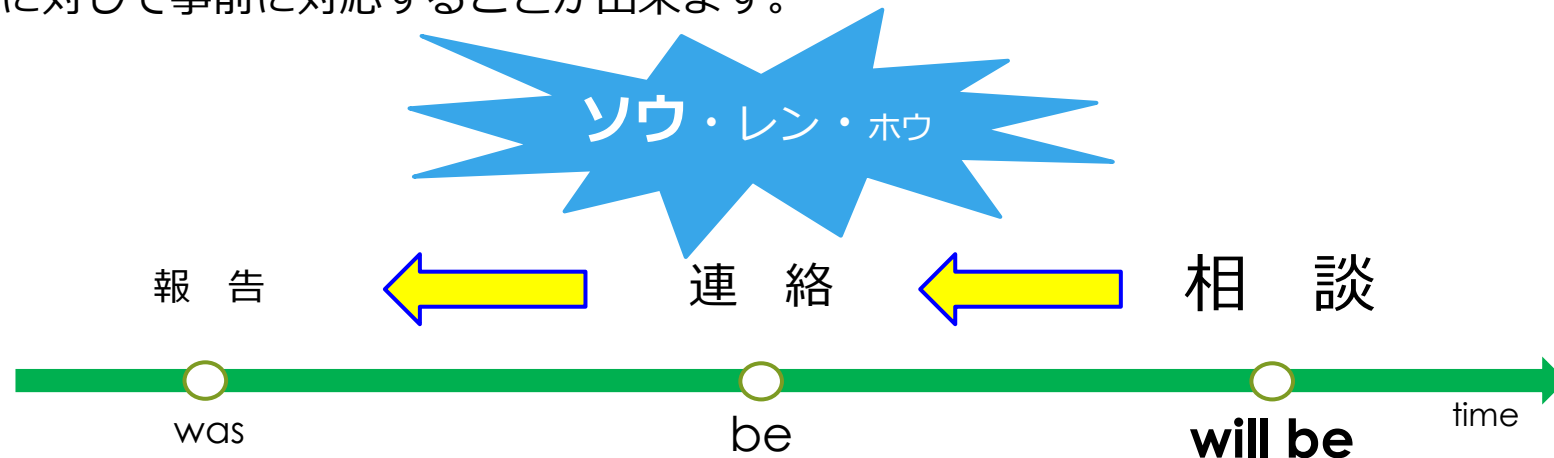
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

梅雨が明けました。毎日うだるような暑さが続いております。また全国各地で水による事故も多発しています。水深30cmでも人間は溺れます。ライフジャケットの着用、アルコールを飲んで水に入らない等、散々言われていることですが、再度確認しておきましょう。